

夏休み水産加工体験で天ぷらかまぼこ作りに挑戦する参加者（過去の様子）

生の児童とその保護者が対象で定員は10組20人。応募多数の場合は抽選。参加料は1人500円。当日は午前9時30分から正午まで。

申し込みは9日までで、同センターは「この機会に釧路の魚で加工体験を楽しんで」と参加を呼び掛けている。問い合わせは同センター0154(31)1405へ。

（戸田英吾）

NPO法人に申請

CCCL総会・シンポ

釧路管内の医療・福祉関

係者らが集まり地域連携や在宅医療などについて考える団体「CCCL（ククル）」本音で地域連携のあり方を検討する会」（望月誠座長）



は6月30日、総会とシンポジウム「写真」を釧路市生涯学習センターで開いた。総会ではNPO法人として申請することを承認した。

この日は医療・介護・行政の関係者約120人が訪れ、釧路市医師会の久島貞一会長が「CCCLのこれまでの活動に心から感謝を申し上げ、NPO法人化により、一層の発展を期待している。釧路市医師会としても協力できることがあればできる限りバックアップしていきたい」とあいさつした。

その後のシンポジウムでは杉元内科医院の杉元重治院長がコーディネーターを

務め、釧路における在宅医療と介護の連携をテーマに、釧路協立病院内科科長の石川晶氏、ソーシャルワーカーで釧路町地域包括支援センターの竹田匡氏、釧路保健所企画総務課長の川上禎之氏を招き、それぞれの視点から現状や課題について語り合った。シンポジ

ウムを通して望月座長は「普段在宅医療に携わる人たちが、それぞれの立場から現状や問題点をこのような形で認識しあえることはとても重要だと再認識することができた。今後もこのような会を開催していきたい」と語った。

ロード機能搭載

コーラスポーツ発売



パーツHYBRID・G "Z"
（重）ニトヨタカローラ釧路提供